

# 民商だより

須崎民主商工会

〒785-0034 須崎市大間本町 11-20

TEL 0889-42-5201 FAX 0889-42-9240

メールアドレス sminnsyo@ybb.ne.jp

## 社説

### 立法府軽視が強まった

#### 臨時国会閉幕

臨時国会がきのう会期末を迎え、閉幕した。

野党は安倍晋三首相が主催する「桜を見る会」を巡る疑念が払拭されていらないとして、40日間の会期延長を申し入れたが与党は拒否した。野党が求めた予算委員会での集中審議も拒み通した。

これでは国民に説明責任を果たさずとされているように見えない。安倍政権の国会軽視の姿勢は、一段と強まったと言わざるを得ない。

桜を見る会を巡っては、安倍政権が公的行事や税金を私物化し選挙や後援会活動に利用したのではないかと

野党は「委員の3分の1以上の要求があれば委員会を開かなければならない」とする参院規則に基づき、開催を要求したが実現しなかった。

安倍首相自身は「国会から求められれば説明責任を果たすのは当然だ」と述べていた。それなら自民党総裁として党側に集中審議に応じるよう命じれば済むが、そうした形跡もない。

野党は通常国会が開かれていた4月に同様に予算案開催を求めた。この時も与党はかたくなに拒んでいて、参院審議を「老後2千万円問

題」などで追及されていた時期で、「野党の見せ場をつくる必要はない」との思惑が報じられた。

国民への説明責任より党利党略を優先し、疑惑隠しに躍起になっているのではないかと、政府・与党の対応ぶりは、国民の目にそう映っているという。本当にそうだろうか。

思い出されるのは、森友・加計両学園の疑惑が焦点となっていた2017年6月。野党は臨時国会の召集を求めた。衆参いずれかの総議員の4分の1以上の要求で、内閣に召集を義務付ける憲法53条の規定に基づくものだった。

与党はそれを3カ月間「放置」した揚げ句、ようやく9月に召集された臨時国会の冒頭で安倍首相が衆院を解散。解明の場を葬った形となったのも記憶に新しい。

国会の規則や憲法の規定に重きを置かず、野党の要請を一顧だにしない。国会を軽んじるような安倍1強政権のやり方に、民主主義が揺るぐ危険を覚える。

政権幹部は「臨時国会が終われば桜も散る。時間の問題だ」と沈黙化に自信を見せているという。本当にそうだろうか。

桜を見る会の問題では、公職選挙法や政治資金規正法に抵触するのではないかと、この疑いも指摘されている。国会閉幕で「逃げ切り」を図れると考えているのなら、楽観的に過ぎるだろう。

野党が閉会中も追及を継続する方針なのは当然だが、政府・与党もこの真摯に説明責任を果たすよう努めなければならぬ。

国民の納得が得られなければ、桜の「疑惑の芽」はこれからも膨らみ続けるだろう。

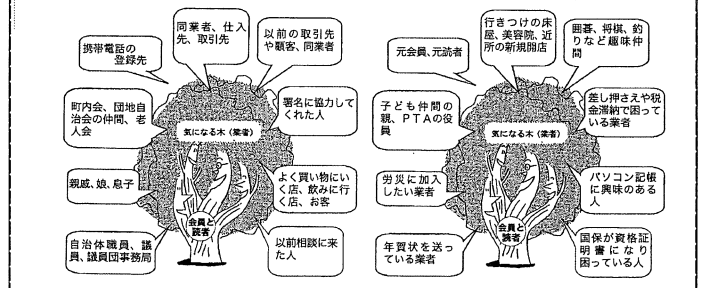
(2019.12.10)

## 読者増勢で新年を

憲法9条改憲を許さず 消費税率を5%に引下げ

### 仲間を増やそう

いろんなつながりで拡大対象者を紹介してください



### 《班会のおしらせ》

誘い合って多くの参加で話し合しましょう

10月からの消費税増税に伴う複数税率・インボイス学習を開催しています。  
来年の「消費税確定申告」は申告書の枚数が3~4倍になります。

学ばないと、申告が大変になります。

消費税率・複数税率・インボイス制度の班学習会日程

班学習日程	時間	会場
12月3日(火)	終了	多ノ郷公民館1F
12月17日(火)	午後6時30分~9時	佐川/桜座和室2F
12月19日(木)	午後6時30分~9時	四万十町/岩井事務所

やっぱりダメ! 消費税10%  
5%へ引下げよ!

### 年末調整学習会及び作成班会

日時・2019年12月19日(木)・20日(金) 26日(木)  
2020年1月 9日(木)・10日(金)  
14日(火)・16日(木)

\*何れも午後1時30分~午後4時まで

持参して頂くもの

- ① 貸金台帳又は給与明細書 ② 生命保険・介護保険地震等々の証明書 ③ 税務署から届いた書類一式
- なお、参加できる方は連絡を!

高知新聞12月11日付より

県版学テに2万人  
もう一人の知事候補の方が良かった:  
一県内小中生(こうち・養統)



必見 商工新聞5面  
須崎民商・JA・農民組合が一点共闘で取り組んだ、JAまつりでの消費税率5%に引下げ等の署名活動が掲載されています。読んでくださいネ!

### お知らせ

\* 19日行動  
12月21日(土)  
午後4時~5時  
新国道 ファミリーマート前  
12月の行動日14日ではなく21日でした。お詫びして訂正します。  
\* 年末年始について  
仕事納め 12月27日(金)  
仕事始 1月6日(月)